

## 令和2年度 新居浜市総合教育会議 会議録

- 1 開催日時 令和3年1月14日（木）14:00～14:55
- 2 開催場所 市役所庁舎3階 市長応接室
- 3 出席者 新居浜市長 石川勝行、教育委員会教育長 高橋良光  
教育委員会委員 大橋勝英、本田郁代、近藤智佳、尾藤一彦

### 事務局

教育委員会事務局長、  
教育力向上推進監、社会教育課長、社会教育課副課長  
企画部長、総合政策課長、総合政策課係長

- 4 会議事項 (1) 新居浜市教育大綱について  
(2) その他

### 5 会議録

事務局	定刻になりましたので、ただ今から、令和2年度 新居浜市総合教育会議を開催いたします。 まず、構成員の皆様の出席状況でございますが、本日は全員が出席されております。次に、会議公開の取扱いについてでございますが、本日の会議につきましては、非公開とする内容はないと考えられますので、原則どおり、本日の会議を公開とし、傍聴等を許可したいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。
全員	(了承)
事務局	それでは、そのようにさせていただきます。 会議の開会に当たりまして、主催者であります石川市長からご挨拶をいただきたいと思っております。 市長、よろしくお願ひいたします
市長	本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。新居浜市総合教育会議の開催に際しまして、一言ご挨拶を申し上げます。

事務局	<p>平素より、皆様には、本市教育行政の推進に格別のご理解・ご協力をいただいておりますことに対しまして、厚く御礼申し上げます。</p> <p>皆様ご案内のとおり、本日の新居浜市総合教育会議は、首長である私と、教育委員会の皆様が、十分な意思疎通を図り、本市教育の課題及び目指す姿等を共有し、同じ方向性のもと、連携して効果的に教育行政を推進していくために設置しているものでございます。</p> <p>本日、協議をお願いいたします事項については、教育行政全般にわたる非常に重要な大綱でございますので、教育大綱の策定に当たり、皆様から、より多くの忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。</p> <p>どうか、よろしくをお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>会議の進行でございますが、この会議は市長が主宰するという形になっておりますので、以降の進行は石川市長をお願いしたいと思っております。</p> <p>では、石川市長よろしくをお願いいたします。</p>
市長	<p>それでは、これより進行を務めさせていただきます。</p> <p>本日の協議事項は、「新居浜市教育大綱について」でございます。</p> <p>平成26年に一部改正されました「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方公共団体の長は、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされ、本市におきましても、平成27年度の第五次新居浜市長期総合計画の後期計画の策定に合わせ、現行の新居浜市教育大綱を策定いたしました。</p> <p>その内容といたしましては、後期計画中の教育に係る部分の「施策名・基本計画・取組方針」などの用語を引用・再構成し、新居浜市教育大綱として位置付けております。</p> <p>先般、12月開催の市議会において、市の最上位計画となる「第六次新居浜市長期総合計画基本構想の策定について」の議決を受けましたことから、第六次長期総合計画の内容に対応した新しい教育大綱を定める必要がございますため、法の規定に基づき、今回、その策定について総合教育会議にて協議を行おうとするものでございます。</p> <p>それでは、まず詳細について、教育委員会事務局から説明をお願いします。</p>
教育委員会事務局	<p>(資料を基に説明)</p>

市長	<p>教育委員会事務局から説明をいただきましたが、ただ今の説明に関しまして、ご不明な点も含めまして、ご質問やご意見がございましたら、お願いいたします。</p>
近藤委員	<p>長期総合計画策定の会議に参加させていただいた。いい計画だと思っている。今回大綱の変更案を見たときに、ICTを活用した教育について、何か具体的に記載があるといいなと感じた。</p> <p>長期総合計画の中では、「教育現場におけるICT化をより一層推進します」「教育用タブレット端末等のICT機器の整備及び教職員研修の実施」と記載がある。大綱であるので、大きい項目を記載するのだと思うが、もう少し何をしていくのか見えてくるといいなと感じた。</p>
事務局	<p>大綱であるので、根本的な方針となる。個別的なものについては、毎年度の取組の中でその詳細を決定していきたいと思う。まずは長期総合計画に掲げられている取組内容と合致するというごことでご理解いただきたい。近藤委員からいただいた意見については、個別の事案として、教育委員会として取り組んでいきたい。</p>
近藤委員	<p>将来的には、ICT教育の推進による成果、児童生徒の習熟度、達成率などが目に見えるようになればよいと思う。</p>
市長	<p>今後、ICT教育の推進は、必須で取り組んでいく分野だと思う。今のご意見を参考に、事業を進めていきたい。</p>
教育長	<p>長期総合計画 施策1-3 学校教育の充実の成果指標として「学校情報化優良校の認定」として、現況値は1校であるものを、計画最終年の令和12年には、市内の全小中学校の28校にしたいという目標を設定している。学校情報化優良校というのは、ICT機器の使用状況や習熟している教員や児童生徒の割合などが諸々加味されて、認定されるものである。この目標が達成できるよう、児童生徒も教職員もICT機器活用の習熟度を上げていきたい。</p>
大橋委員	<p>先日四国中央市の学校現場を視察したが、電子黒板を非常に有効に活用して授業を行っていた。新居浜市の電子黒板の設置状況、使用状況はどうなっているか。</p>

教育長	<p>市内小中学校の全教室に配備されている。活用状況についても、毎日授業で使用されている。少し前までは、台数が少なく、電子黒板にキャスターをつけて、各教室を移動させて使用しており、毎回準備に時間がかかったが、現状は全教室に配備されたので、常時、いつでも使用できる状態であり、朝から、子どもたちが帰るまで、各教室において有効に活用されている。</p>
大橋委員	<p>ライオンズクラブの薬物乱用防止教室の関係で四国中央市土居町の学校を巡回で訪問しているが、USBメモリーを電子黒板に差し込めば、先生の操作で黒板にデータが映し出され、すごいと感じた。</p>
教育長	<p>次回の学校訪問の際に、新居浜市内の学校での活用状況を見ていただくようにしたい。</p>
尾藤委員	<p>2点ある。ICTの関係でいうと、児童生徒に一人1台の端末を用意する準備を進めていると聞いているが、インターネット環境については、学校内であれば問題なくアクセスできると思うが、問題はコロナ禍において、再び学校が休校になり、児童生徒が自宅待機となった際に、自宅に通信環境がない家庭の児童生徒への対応をどう考えているのか。そのあたりのサービスについても考えられているのか。</p> <p>それと、長期総合計画の中に、「老朽化した市民文化センターに代わる新たな施設整備に着手します」とあるが、市民文化センターの再整備をどのようなスケジュールで進めようとしているのか、少し具体的なところがわかれば教えていただきたい。</p>
市長	<p>まず、文化センターについては私の方からお答えする。文化センターについては、耐用年数を65年と考えており、令和9年度に建築後65年となる。令和9年度まで残り使用期間が7年となっているので、令和9年度までに建て替えに向けた取組を進めていきたいと考えている。</p>
教育委員会事務局	<p>ICTの関係については、LTE対応端末を用意しているので、インターネット環境のない家庭でも学習できる端末になっている。それとは別に、家庭での使用に当たり、子どもたちに正しい使い方をしてもらうため、アクセス制限をどうするか等も含め、児童生徒、教職員に対する十分な研修に努め、来年度からの本格的な使用開始に備えたい。</p>

<p>本田委員</p>	<p>要望もあわせた質問であるが、長期総合計画の中の、「基本計画 1-3-2 児童・生徒の健全育成」の中での取組方針として、「個々のニーズに応じた相談体制の整備・充実を図るとともに、児童・生徒にあった学びの場を提供します」とあるが、今、不登校の問題が、教育委員会定例会でもいつも議題にあがっており、非常に危惧している。今ある制度としては、「あすなろ教室」があると思うが、児童生徒が増えて満杯状態になっている。</p> <p>学校に代わる場所として活用されているが、増設の必要性をすごく感じている。もし、この取組方針に基づく計画があれば教えてほしい。</p>
<p>教育長</p>	<p>あすなろ教室については、子どもへの対応が非常によく、学校に帰るためのステップの場として、広く認識されている。そうしたこともあり、現在40名を超える子どもたちが教室を利用している。今後、あすなろ教室を増設していくのか、あるいは地域の公民館等で、コミュニティ・スクールのひとつの活動の中で、そうした機能が代替できないか、様々な道を模索していきたい。不登校の子どもたちの数は全国的に増加していて、本市においても同じように増えているので、それに対応していくことは重要なことであると認識している。適応指導教室とあわせて、市内全体で進めているコミュニティ・スクールの地域学校協働活動の一環をそこに持たせることができないか、幅広い視点から考え、長期総合計画に記載しているとおり、児童・生徒にあった学びの場を生み出していきたい。もうひとつはフリー・スクールについて、特に都市部では広く認知されているが、新居浜市でも一部の施設を、フリー・スクールの機能を持った施設としてすでに何年か前から対応している。こういうこともあわせて検討していきたい。</p>
<p>本田委員</p>	<p>基本計画の5-2-2「文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承」という部分であるが、今、いろいろな施設の中で文化財や資料の保存・管理が行われていると思うが、ふるさとラボについては手狭な状況になっている。別子銅山関係の資料等は、管理もきちんとされていて、市民の目に触れる機会も多いと思うが、それ以外の資料については、小中学校で預かっている市の資料もある。小中学校以外にも、マイントピア別子、あかがねミュージアムなどにも分散保存されているのだと思う。もし、新しい文化センターの施設整備に着手されるのであれば、文化財、郷土の資料などを一括保管できるような場所もあわせて検討してほしい。そういった保管場所があれば、計画的な資料の展示ができたり、市民が文化財等に触れる機会が増えるのではないかと思う。</p>

教育長	<p>確かに小中学校の資料室に預かってもらっている市の資料もたくさんある。</p>
事務局	<p>旧の消防庁舎が現在、空いた状態になっている。そこをどう活用するかについて、今年度から来年度にかけて協議し、決定したいと考えている。市庁舎を将来どうするのかとも関連もある話であり、仮に旧の消防庁舎に資料を保管する場合には、重量的に建物が耐えられるかという問題もある。</p> <p>現在、市役所の組織として市史編さん室があるが、そちらの方で、市内にどのような資料があるか確認作業も行っているので、現在ある資料を今後も全部保存すべきかも含めて、ご提案のあった1か所に集めて、定期的に展示するという含めて、検討する必要があると考えている。新しい文化センターをどういう施設にするのかということも同時に検討していくので、その中で、学校にある資料をどうするかも協議していきたい。</p>
市長	<p>今後検討をさせていただきたいと思う。</p>
尾藤委員	<p>子どもの教育として、辛抱強いとか粘り強いとか打たれ強いとか、強い子を育てるような視点も必要ではないかと考えている。スポーツの関係でもいいし、研修事業でもいい。</p> <p>現在、道徳的な教育については、非常に丁寧にされているという印象を受けているが、忍耐力を育むというような視点での教育もプラスしてもらえるといいなと感じている。そういった視点の教育について、大綱のどこかに位置付けていただけるとありがたい。</p>
教育長	<p>おっしゃっている意図はよくわかる。何か問題が起こったときに、子ども自身が解決するよりも、周囲が先に解決してくれるケースもあるが、もちろんケースによるが、場合によっては、子どもにたくましが育まれないという面もあるかもしれない。おそらく、こういう視点の意見かと思う。教育大綱については大きな視点での大枠の取組になるが、大綱を受けて、年度当初に教育委員会の取組方針を決定するので、そういった視点の意見については、方針の中に反映し、早速4月から、たくましい子どもを育てていくという部分を勘案させていただきたい。</p>
近藤委員	<p>子どものオーケストラのお世話をしている中で、新居浜市の公民館や公共施設を使わせてもらうことがよくあるが、他市の方からも、新居浜の施設は</p>

	<p>とても気持ちよく使わせてくれると好評をいただいている。他市では、土日は担当者がいないからイベント以外では使用させないという施設も多いと聞いている。その点、新居浜市は協力的で、大人も子どもも学ぶ場がたくさんあるのは、誇りに感じている。長期総合計画の基本計画5-1-2 生涯学習関連施設の充実においても、取組内容として、生涯活躍のまち拠点施設の整備・活用とあるが、今具体的に、旧若宮小学校を使っていく方針があれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>生涯活躍のまち拠点施設とは、旧若宮小学校のことであり、「ワクリエにいはま」として本年4月のオープンを目指している。その中では、木のおもちゃを活用した子育てゾーンや、新たな産業を呼ぶためのサテライト・オフィスの機能とか、学生や、起業を目指す人が自由に使えるコア・ワーキングスペース、地元の方が運営するレストラン、音楽スタジオなど、子どもから高齢者まで、生涯活躍の拠点施設として、旧若宮校区だけでなく、市内全域の方に利用していただきたい施設として、今、改修工事の最終段階に入っている。この施設のPRについては、今後、市政だよりなど様々な手段での広報、情報発信に努めたいと考えている。</p>
近藤委員	<p>どちらかという、起業者向けの施設ということか。</p>
事務局	<p>単一の用途の施設ではなく、ゾーンで機能を分けている。一つのゾーンは、親子で楽しめる、木のおもちゃを生かした子育て・教育ゾーン。例えば、イオンに買い物に来た子育て世代の方にも、このゾーンを利用していただきたい。レンタル・オフィスのゾーンは、起業するときに、最初の数年間は安い賃料で、施設を利用していただき、その後、市内で新たに事務所を構え、起業していただく。コア・ワーキングスペースについては、自由に活用していただき、学生であれば自習場所として活用してもらったり、会社員であれば、そこで仕事をしてもらうといった活用を想定している。様々な使い方ができる、いろんな機能をもった施設を目指しており、気軽に利用してほしいと考えている。ただ、どんな施設であるのか一言での説明が難しい施設であるので、そこは映像なども活用してPRを行い、幅広い市民に利用していただきたいと考えている。</p>
大橋委員	<p>読書について、推薦図書などいい本を学校においてほしい。歴史的な偉人や貢献した人などの伝記ものや自然科学ものなど、子どもたちには多様な本に触れてほしい。現状、市内小中学校の状況はどうか。</p>

<p>教育長</p>	<p>市内には別子銅山記念図書館及び角野分館があるが、委員から話のあった学校図書館についても、環境、蔵書整備に力を入れて取り組んでいる。例えば、古い蔵書ばかりであれば、子どもたちが図書室に行かなくなるので、新しい図書、伝記や図鑑、科学系統の図書などをどんどん購入し、入替を多くして、児童生徒に使ってもらえる図書室を目指し、取り組んでいる。</p> <p>また、もうひとつは図書室そのものを改造して、子どもが図書室に寄りやすくなるような取組も行っている。これは、全ての小中学校で行っている。</p> <p>さらには、学校図書センターというものが教育委員会にあって、8人の学校司書の資格をもった支援員がいる。支援員は、授業で活用する参考図書の選定をし、先生が授業をしやすくするためのサポートを行うとともに、学校図書館の運営を行っている。</p> <p>あと、市の図書館については、1月20日から約1000点程度、電子図書の貸し出しを開始する。このサービス開始により、24時間、どこからでも電子図書が読める仕組みが始まる。ぜひこのサービスも活用していただきたい。</p>
<p>大橋委員</p>	<p>推薦図書についての申し出もあるのか。</p>
<p>教育長</p>	<p>ある。夏休みの課題として読書感想文があり、そのための課題図書が選定されるが、課題図書については、どの学校も何冊か購入し、図書室に置いて、子どもたちが借りられるようにしている。</p>
<p>大橋委員</p>	<p>読書は人間形成になくなくてはならないものであるから、いい本をたくさん学校の図書室においてほしい。次回学校訪問の際、図書室を見せてもらう。</p>
<p>市長</p>	<p>コロナ対応の一環として、休校等になった場合を想定して、各教科の動画を制作し、インターネットを通じて配信ができる環境整備を教育委員会で進めてもらっている。いくつかの動画を確認したが、非常にわかりやすかった。一部、まだ準備ができていない学年・教科もあるようなので、教育委員会においては、鋭意準備を進めていただきたい。すべての学年、教科の動画が完成するのはいつごろか。</p>
<p>教育長</p>	<p>今年度中にはすべて準備できる予定である。</p>



市長	<p>コロナの流行が再拡大しているので、再度休校になるような事態も想定し、準備を急いでほしい。</p>
教育長	<p>動画制作に協力してくれる教員を増やしていきたい。鋭意、撮影を進めていく。</p>
市長	<p>他に何か意見はありませんか。本日は、皆さんそれぞれのお立場や経験からの、貴重なご意見を賜り、ありがとうございました。今後は、本日、総合教育会議で頂きましたご意見を参考といたしまして、新しい新居浜市教育大綱案の取りまとめを行ってまいりたいと考えております。</p> <p>せっかくの機会ですので、他に、教育全般に関しまして、何かご意見や協議事項等はありませんか。</p>
本田委員	<p>子どもたちが小中学校で、運動面や文化面で非常に活躍している。特に運動面については、高校との連携についてもかなり取り組んでいただいていると思うが、今年、女子の全国大学駅伝大会には、新居浜市で活躍していた選手も出場していた。今後、小中学校時代に運動面で頑張っていた子どもたちが、地元の高校に進学して、そこで活躍できるようなシステムづくりについて、さらに力をいれていただければと思う。</p>
教育長	<p>東高校にスポーツコースが設置されているが、スポーツ、勉強どちらも特色ある高校を増やすことで、市内の高校への進学、そこでの活躍を期待している。そのためには、さらに小中学校、高校の連携を強化し、新居浜の子どもたちが新居浜市内で活躍できるための環境整備に努めていきたい。これまで、教育委員会ではトップアスリート事業を実施し、例えば、駅伝であれば、今年度の全国大会で男女アベック優勝した広島の世界高専の監督にコーチに来ていただいて指導を受けたりしている。また、バドミントンも全日本のコーチを招聘して、定期的に指導を受けている。そういうことで、市内にいてもトップアスリートの指導が受けられる環境づくりを支援している。また、市内高校の強化指定種目、高校に補助金を出して、強化のための遠征等に使ってもらっている。そのような取組を通じ、競技力の向上を応援している。集中的に支援している高校、種目は全部で8種目程度であるが、1つの種目を除き、全てが昨年度、今年度に全国大会に出場している。こういった成果も出ているので、新居浜市内からでも、市内の高校でも全国大会を狙える環境整備に力を入れていきたい。</p>

教育委員会事務局	新居浜商業の女子バスケットボールも3年ぶりに全国大会に出場したが、トップアスリート事業の成果が表れていると感じている。
市長	勉強の面でも、新居浜西高校に理数・医療類型のコースができた。いずれにしても、勉強、スポーツそれぞれで頑張る中学生が、新居浜の高校に進学してくれるよう、さらに小中学校、高校の連携を強めていきたい。
教育長	新居浜西高校でも理数・医療類型のコースから、例年よりも多い医学部合格者が出たと聞いている。成果が出てきているのではないか。
大橋委員	現役で国立の医学部に合格する生徒は、大したものである。
教育長	新居浜東高校でも、スポーツのコースから、筑波大学に進学する生徒もいる。
大橋委員	欲をいえば、大学へ進学した生徒が、将来は新居浜に帰ってきてほしい。
市長	以上で、本日の会議事項は全て終了いたしました。これにて、閉会いたします。
以上	